

05

Saga Monodukuri ★ 金属製品製造業

実施年度:平成28年度補正

ものづくり技術

一般型

吉田刃物株式会社

代表者 吉田 健司

資本金 3,200万円

住 所 佐賀県多久市南多久町大字花祭2808

設立年月 昭和55年10月

連絡先 TEL 0952-76-3868 FAX 0952-76-4126

従業員 41人

URL https://hanamatsuri.co.jp/



レーザーマーカ―導入で付加価値の高い包丁のデザイン力を向上させ販売量UP

近年、高品質でデザイン性の高い日本製の包丁が海外でも人気で、高価でも需要があります。品不足で日本に買い付けに訪れた海外のバイヤーが、地方の製造者を回る例も珍しくありません。鋼の周りをおよそ10層以上のステンレス系の材料で重ね合わせ、包丁の厚みになるまで薄く叩き伸ばすことで複雑な文様が楽しめるダマスカス包丁は、機能と美観で海外でも人気です。当社では最高硬度のステンレス刃物鋼を使用したダマスカス包丁を開発し、その製造を軌道に乗せるためにレーザーマーカ―を導入しました。欧州を中心とした海外への販売を独自に広げ、「九佐吉」ブランドの知名度も上がっています。

代表取締役
よしだ けんじ
吉田 健司

Q1 御社について教えてください。

A 初代は刀鍛冶に弟子入りし入賞。戦後農業用刃物で創業。機械化による量産体制を進め、分野を問わず刃物を製造してきた技術と歴史があります。

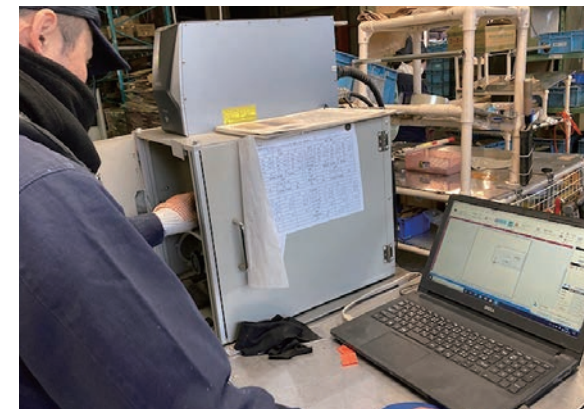
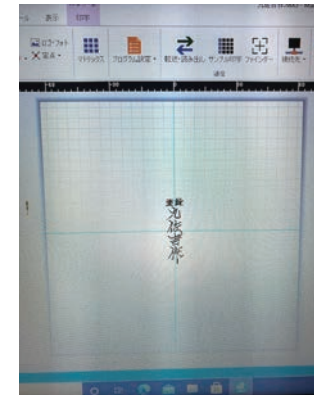
本事業への取り組みの経緯

当社では日本で最高硬度のステンレス刃物鋼である日立金属株式会社のZDP189の商品化を進めていました。当社ではZDP189に柔らかいステンレス材を挟み合わせたクラッド材を開発し、刃物全体の柔軟性と強度を高めることに成功し、当社オリジナルのダマスカス包丁を開発しました。海外富裕層をターゲットに販売開始したところ、機能面で高い評価を得たものの、課題もありました。タガネの銘切りによる刻印の濃度が均一でない点、小さい文字の打刻が難しい点、文字の配置に自由度がない点、ブランド名を入れる等の顧客要望や試作依頼に応えづらい点です。刻印濃度の不均一で約3%が不良品となり、その不良を避けるために打刻を強くすると約10%に歪み等が発生しました。1丁につき約300円の修正費が必要となる上に、修正にはより多くの時間と不要な傷が増えていました。



実施内容(取り組みの詳細)

課題を解決し、不良品の発生を抑えるために、包丁に打刻する際に使用する最新式のレーザーマーカ―を導入しました。併せて、散乱光が外部へ出るのを防ぎ、人体を保護するためのレーザーマーカ―専用安全ボックスを導入しました。印字物を固定する治具の製作、治具を作成するための材料の準備、印字するロゴデザインの準備を行った上で、見積書を2社から提出してもらい、納入業者を決定した上で発注しました。機械納入後、ブランド名やロゴマークを鮮明に表記することが可能であること、そしてロット番号やサイズ・形状・ZDP189の文字など細かい文字をマーキングできることを確認しました。



取り組み成果・波及効果

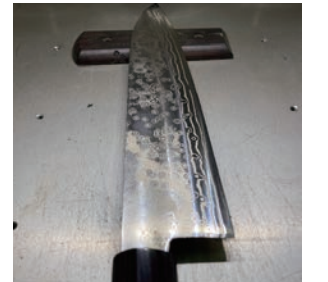
最新式のレーザーマーカ―を導入したことで、まず、デザイン性が向上しました。ブランド名やロゴマークはもちろん細かい文字も鮮明にマーキングできる上に、デザイン構成を変更・更新することも容易になりました。配列のバランスも良くなったため、顧客の要望に応じやすくなりました。また、マーキングの均一化により、不良発生のリスクが大幅に低下しました。新製品の新しい刻印製造の作業が不要となったことで業務削減にもつながりました。さらに、刻印ごとにプレス打刻の段取替が不要になったことで作業の標準化が実現し、誰もが作業できるようになった結果として、業務の効率化を実現することができました。

Q2 今後の課題はありますか？

A 人材育成による品質向上・生産力UP・
自社ブランドのより一層の強化

Q3 御社の経営ビジョンは？

- A**
- ①社会に必要とされる刃物の専門集団になる
(幸せな社員)
 - ②安心安全で快適な職場環境を作る
(幸せな職場)
 - ③喜ばれる商品サービスを提供する
(幸せなお客様)
 - ④社会変化に対応し成長出来る事業戦略を作る
(幸せな未来)



今後の展望・活動予定

需要の高い包丁には切れ味の良さとデザイン性が求められます。切れ味を左右するのは刃の硬度・刃の角度・刃の研磨です。日本の包丁製造は、技術面および設備面において世界の先頭を進んでいます。岐阜県関市と新潟県燕市・三条市の製品が輸出量の大半を占めていますが、当社にとっての市場は無限大と言える規模です。海外の富裕層をターゲットに、機能と美観を供えた特徴ある包丁を製造・販売することで存在感を高めていきたいと考えています。